

★消費税が5%増税されたのが1997年。この17年間で国民の貧困化が進み「貯蓄なし」3倍・借金で0万円減。安倍晋三・自公内閣は4月1日から消費税8%への増税を強行しようとしています。消費税率を3%引き上げれば8兆円の大増税です。年金削減や社会保障料引き上げという社会保障等の改悪を合わせれば10兆円の負担増。史上空前の大増税です。

赤旗 読者のひろば

日本共産党
砺波市委員会
西尾 英宣
千代180
Tel 33-6118

SPED Iの方向性が定まらないなか
原子力災害編

【砺波市防災会議】

SPED Iの方向性が定まらないなか 原子力災害編

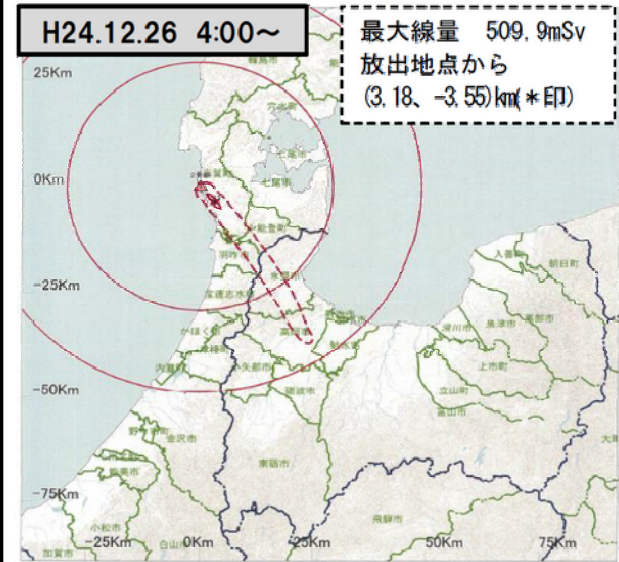
二十七日、市防災会議が開かれ、地域防災計画（一般災害編・地震災害編・資料編）について中央防災会議の最終報告も踏まえ、昨年六月の災害対策基本法改正や一昨年五月の気象業務法改正に伴う修正が確認されました。

また、「原子力災害編」の策定について、「国としての方向性が定まっていないうなか、現段階で考えられるものを盛り込んだ」としたうえで示されました。



▲SPED Iのシミュレーションの記事（北日本新聞 2/26付）

▼公表されたシミュレーションのうちの一つ。高岡市の木津～二塚（高岡駅南の大部分が屋内退避エリアに）気象条件ははじめ、さまざまな条件によって大きく変わるため、示された例だけを見て「砺波市は安心」と思うわけにはいきません...



（左図）ものもあり、私たちの砺波市（志賀原発との最短距離四五km）も他人事ではありません。

資料には二四例が示されましたが、放射性物質が放出される高さは地上一〇〇m（排気筒の高さ）という前提条件。「なぜ爆発しない前提なの？」という疑問も生じます（福島原発の爆発の黒煙は、排気筒の三、四倍に昇った。高くなれば、拡散範囲はもっとと広がります。そうしたことも考えなければなりません。

活断層否定できず 志賀原発は廃炉に！

今月二十四日、志賀原発の原子炉建屋直下の活断層の存在について、「可能性は否定できない」（原子力規制委員会専門家調査団）とされました。追加調査するといいますが、危ない原発は廃炉にするしかありません。

赤旗日曜版を読んで

（三月二十三日号）

知恵を武器に憲法を（10画）

「私たち法律家はその『武器』である『知恵』を伝えることができると思っております」と早田さん▼「知らないうちに憲法が変えられてしまった」ということにならないように「知恵という武器」を多くの人に持つてもらいたいという。そのような「武器」なら大歓迎！▼でも私に知恵が持てるかしら？とも思います。若い弁護士さんたちがクラブハウスでの憲法企画などユニークな取り組みをしていることに驚きました。そんなノリなら、私にも理解できるかなあ▼弁護士さんって、お堅いイメージがありました。お堅いイメージがなくなりましたが、この記事でなんだか身近に感じられました。そういうえば高岡の原発ゼロの会の代表も若い弁護士さんでしたね▼立憲主義を解説する紙芝居とか、ぜひ見てみたいです。富山県議会に恥ずかしくもなく改憲の意見書を出した自民党のみなさんに「武器」をつきつけたら、どんな反応するかしら？（四十代女性）

★北海道函館市議会は26日、青森県大間町に建設中の大間原発をめくり、市が国と電源開発を相手に建設の差し止めなどを求め提訴する議案を、全会一致で可決しました。市は4月3日にも、東京地裁に提訴する予定。自治体による全国初の原発建設差し止め訴訟となります。

【ただのつぶやき】

19日 市議会本会議を傍聴

景観まちづくり条例について反対する議員が討論に立つかと思ったら、ありません：反対討論があると思つて通告していた自民会の議員の賛成討論だけという少々おかしな展開でした。

22日 原発ゼロをめざす市民の会・高岡の講演会

砺波市からの参加も含め一〇九人。代表委員の坂本義夫弁護士は、「志賀原発は来年にも再稼働という話もきく。このような時だから、あらためて福島原発事故の被害、現地の状況を知ろうと企画した」と挨拶。

福島県議会議員の阿部裕美子氏が「原発ゼロをめざしてふくしまからのレポート」と題し講演。原発事故による混乱、除染、住民の分断など、現地の人だからこそ語れる話に参加者は真剣に聞き入りました。

阿部氏は、「オール福島」で原発に頼らない社会を求めている「SPEDI」の情報が開示されず、放射線

量の高いところへ避難し被災したこと、秘密保護法も全会一致で反対」など紹介、「子どもたちのためにも、ご一緒にがんばりましょう」と訴えられました。

汚染水問題学習会

電力関係OB・現役の人たちが企画した勉強会に参加。汚染水処理装置ALPSの不調など深刻な状況について報告されました。

23日 スマートフォン

上の子のときは「ケータイ」、今は「スマホ」。おかしな使い方ははしないようにと厳重に言い聞かせ…。

24日 高校入学説明会

制服は上の子のおさがりでごめんなさいです。

自民党が改憲意見書強行

自民党が県議会に提案した「憲法改正の早期実現を求める意見書」。県内12の民主団体や労働組合、市民団体が十七日、県議会各会派と議長採択しないよう申し入れするなどのなか、県議会では共産党、社民党

【続きんの日記】

22日 「これはすごい！コシヒカリの有機栽培

十二俵取り」と題した栽培研修会を富山県農民連の主催で開きました

新潟、長岡で深水の有機栽培を行っている新潟県農民連の佐藤さん(新潟県農民連の副会長)の話、頭にこびりついている今までの「常識」が次々に剥がされていきます。

水を欲しがらる苗を作らない、弁当肥やしは必ずやろう、苗丈の際まで水を入れます、水を充て始めたら穂が出る40日前までは落とすことはありません、茎の太さは14ミリ、カンカン照りでもがぶり飲みはさせない・・・結果、農薬を使わずに誰でもコシヒカリ10俵以上！

仰天の話が展開しますが、理にかなっていているし本人の実践に裏打ちされているのでうさんくささがないりません。二時間以上の質疑を交えた研修会になり

ました、ずっと「おもしろいな」と感じて続けて終了時間になりました。参加されたみなさんもそうだったに違いありません、次々に質問が飛び交いましたから。

計算された損得勘定を超えて新しい試みに挑戦してみたいという気になりました。そうめん作りを終えて田んぼに向かうには気持ちの切り替えが大変と思っていました、不思議に早く取り掛かってみたいという気にさせられています。一年の米作りに張りを与えてもらったような感じです。

効率、大規模化のみを追い求めるのは違う、物作り本来の楽しさがここにありという気がします。

それにしても、農業に携わる期間の長さだけ考えらるなら、佐藤さんと私のあいだには大差が無いのに、実践の中身にどうしてこれだけの開きができてしまったのか？ちよつと考えさせられますね。

(何でもお気軽にご連絡・ご相談ください・多田携帯 090-3369-8216)